

湖南省議会議員



赤祖父ゆみ

12月議会報告書

NO.30

2011年 1月

無断での複写・転用を禁じます。

♪ご意見お待ちしております。

[発行責任者：赤祖父ゆみ]

事務所&自宅：湖南省宝来坂3丁目7-20 TEL/FAX 0748-77-5437



初春のお慶びを 申し上げます



ご家族とご一緒に、温かいお正月を迎えられた事と心よりお喜び申し上げます。昨年中は大変お世話になりありがとうございました。今年は「兎年」。うさぎの長い耳のように、市民の声を広く聞きながら、大きく飛躍して参りたいと思います。引き続きご指導、ご鞭撻をよろしくお願いたします。

私は、元旦5時から元朝式に出席させていただき、ありがたい「年頭之辞」をお聞きしてまいり、身の引き締まる思いをしています。昨年の「NHK 紅白歌合戦」でも唄われた「トイレの神様」の歌詞に多くの方々感銘を受け話題になっていますが、おばあちゃんが教えてくれた、「トイレをきれいにしたら、神様がべっぴんさんにしてくれる」という事を孫に

言い伝えていく事の大切さや家族愛について話をされていました。先祖を敬い、おじいちゃん、おばあちゃんを大切にすることを常に忘れてはならないと改めて感じる事ができました。

政権交代が実現されて約1年半。菅新内閣は、今までの政治を脱却すべく全力で変革を成し遂げようと日々努力を重ねています。政治家同士が足を引っ張り合うのではなく、今の雇用や医療、社会保障の問題で国民は喘ぎ苦しんでいる現状を理解していただき、一刻も早く、この国の政治を前に進めていただきたいと願っています。少子高齢化が進み、医療費が急増している今の日本。税の組み替えは喫緊の課題です。借金ばかりを増やし、子ども達にそのツケを負わす事のないように制度改革が必要です。夢と希望が語れる日本、湖南省に導いていかななくてはなりません。

地方自治では法人税、市民税、所得税が直接影響し、交付税の先行きや独自施策の方向性で左右され、見通しが付きにくく大変厳しい中での舵取りではありますが、更なる行政改革、議会改革を進めながら、皆が一丸となって、「このまちに住んで良かった」と思えるまちにするため、微力ではありますが、私も一生懸命走り続ける決意です。

赤祖父 ゆみ

12月議会 平成22年12月2日～17日

☆市長提案

条例制定 (2件) 条例改正 (2件)

補正予算 (5件) 契約 (1件)

その他 (13件)

(指定管理者の指定、市道認定、路線変更、訴え提起、規約変更等)

☆議発議案

請願 (2件) 意見書 (3件)

☆追加議案

契約 (1件) 人事 (2件)

追加意見書 (4件)

ポイント

議案77号 湖南省国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定・・・可決

重要な案件という事もあり、福祉教育常任委員会に付託して審議を行いました。国と同様に湖南省も少子高齢化が進み、総医療費は毎年約5%づつ増え続けています。国民健康保険加入者は湖南省民全体の25%ではありますが、この保健加入者は、保険料負担能力の弱い方々の加入割合が高くなっている事から、湖南省も一般会計からの法定外繰入を3% (1億3214万5千円) と基金の取り崩し、広域支援借入金1億2400万円を借りて均衡を保ってきました。昨年、5年据え置かれた税改正を行ったにもかかわらず1億8千万円の保健税増収の見込みが、4千4百万円程度の増額にとどまる結果となり、大変危機的状況と言えます。平成22年度は、前年度決算で赤字になった1億3437万円に加え、滋賀県からの借入金の返済が平成22年度から3ヶ年間、約4200万円と重くのしかかってのスタートとなりました。誰もが安心して医療を受けることのできる国民皆保険の中核をなす国民健康保険税を堅持するためには、今回の値上げはやむを得ないという結論に達しました。

他市も同じような状況下で値上げとなっており、委員会として、国に対し、抜本的な税改正の見直しの意見書を今議会で提出をし、市に対しては、税の公平性の観点から、**収納率の向上、外国人帰国者の整理、予防施策に重点を置く**よう強く要望いたしました。

議案78号 湖南省文化ホール条例の一部を改正する条例制定

以前からの一般質問で、石部文化ホールのロビーの利用について、有効に活用していけないかといった意見を出していましたが、今回やっと実現をし、使用料の設定に漕ぎ着け、大変嬉しく思っています。しかしながら、本来市は、ホールを利用してほしい思いが強く、ロビーを利用すれば、立地上ホールが使用できなくなる事から、ホール使用料の半分の料金が設定されました。(8:30～17:00で9500円) また、複合施設という事から、図書館の閉館時のみという設定となりました。多くの市民が集える場所にと思い提案をしてきましたが、これでは、利用者は少ないのではないかと思います。音については仕方ないにしても、料金はいささか高額だと思っています。現在進めています、行政改革の中で、料金設定の際、もう一度検討してもらおう事を確認しました。

環太平洋戦略的経済連携協定 (TPP) 交渉に反対する意見書

今議会、多くの地方議会でTPPの問題が議論されています。また、国においても、経済連や農業団体と話し合い、調整がなされています。若い人達も農業に興味を持ち、やってみたいという人がでてきています。多くの規制緩和をすることによって、可能性を伸ばす新しい施策が必要だと思います。韓国や中国は経済の面で、大きな発展を遂げてきています。日本の良さを海外にアピールし、輸出もしていく攻めの外交が必要と考えます。そのためには、農家を守る施策も必要となるでしょう。もう、変革の時であると私は思いこの請願に反対をいたしました。

湖南省一般会計補正予算

甲西文化ホール整備改修工事

7000万円

甲西文化ホールの調光装置の修理にリースを止めて修理するもの。国からの交付金が充当される。3月までには完成の予定。

コミュニティバス運行対策費

5163万円

昨年の補正額より減。改善がみられる。



一般質問

湖南三山を中心とした市の活性化対策

問 今年の湖南三山めぐりの傾向と分析。また、併せて東海道を活性化させていく市の見解について

答 来訪者数は、28717人で、(対前年比109.1%)で、年々増加をしています。特に大型バスの来訪者が増えており、旅行業者や報道機関への宣伝活動が大きな要因であると考えています。

東海道の活性化については、観光ガイドブック「ぶらりこなん」などで、PRをしています。今後、まちおこしの一つとして、地域まちづくり協議会との連携も重要であると考えています。

問 東海道の歴史を感じさせるような看板を設置してはどうかと考えますが。

答 新年度予算枠のきらめき予算枠の中で考えていかれるのではないかと思います。

問 竜王アウトレットモールが7月にオープンし、沢山の買い物客が訪れています。竜王インターから来られたお客を湖南市を經由して栗東インターから帰っていただくゴールデンルートを探し、滋賀県や湖南市ならではの特産物産店を設置してはどうかと考えますが。

答 今後、市内の地域資源を有効に活用し、総合計画にあげています、「道の駅構想」などに取り組み、地域資源が線で結ばれるよう、観光・体験ルートの定着を図りながら、市内活性化を推進していきたい。

問 市民主体の経営方法、「新しい公共」についての見解を伺います。

答 各まちづくり協議会に幹部職員を置く「人的支援」や、図書館を地域に開放する「情報支援」を行い、厳しい財政状況の中ではありますが、やる気のあるところから提案いただき実現していくしくみ、「財政支援」をしていきたいと考えています。

次世代を担う強い教育力の育成について

問 学力向上をめざすため、医学的要素の脳科学を視野に入れた教育について、見解を伺います。

答 湖南市においても、朝学習での漢字の書き取りや計算練習を繰り返したり、音読活動を進めています。脳科学からの要素も踏まえて取り組むことは、大切ではないかと考えています。

問 小野市で行われている小野検定についての見解を伺います。

答 合格になるまでチャレンジをする、学ぼうという意欲がわくしくみとなっています。がしかし、著作権料や問題作成、採点作業、事務処理などで、毎年多額の予算が必要となります。湖南市では音読集「ことばの宝石箱」の暗唱チャレンジや、漢字検定を受験するなどの取り組みを広げつつ、家庭学習への動機付けの工夫を含め検討していきたい。

問 子育ては親教育が重要です。子育てを一貫として捉える組織改編は。

答 家庭教育は大変重要と考えます。組織の改編については、国では幼保一体化に向けた取り組みが議論されている段階であり、国の動向を見ながら検討していきたい。

問 子育てはおなかに生を受けた時からすではじまっています。健診時に脳科学の講習会などの開催は考えられませんか？また、現在の取り組みについてお聞きします。

答 親教育の重要性は認識しています。子育てを中心とした講習を現在も行っています。

問 現在湖南市では、幼児教育の重要性を指摘されいながら、幼稚園主事の設置がなされていません。湖南市の幼児教育の充実としての問題点と今後見解についてお聞きします。

答 湖南市は私立幼稚園と公立幼稚園があります。今後、保育園の民営化についても行政改革の中で議論を重ねており、幼児教育について、湖南市に一番あったものを模索していきます。

頑張った事

意見書第4号 湖南省の県立高校の統廃合に関する意見書を作成し提出！

県は、平成20年3月に「新しい行政改革の方針」を出し、この中で、県立高校の統合・編成を含めた見直しの方針が出されました。「県立高校のあり方検討委員会」の報告によれば、一学年の適正学級数について「6～8学級」が妥当となっており、現在一学年4学級の石部高校は再編の対象ということになります。石部高校は、普通科で総合選択制を持つ「21世紀の新しいタイプの学校」として、平成8年4月に開校した県下で最も新しい学校です。ユニバーサルデザインの施設整備が充実し、市内の数多くある福祉施設での実習体験を生かした「ボランティア」を重点とした夏季集中講義が行われるなど、地域の特色を生かした学習が進められています。湖南省では、「自立支援福祉総合特区構想」を国に申請をしているところであり、こうした施策を進める上での人材育成は極めて重要と考えます。県は来年に向けて審議中であったため、少しでも早い時期にと考え、11月30日の臨時議会で議会に提出をし、全員一致で可決となりました。県に意見書を提出し、その後県立高校の統廃合については来年度は見送りとなりました。

3月議会の予算方法を議会運営委員会で決定！

9月に予算・決算常任委員会が設置されましたが、その審議の仕方にさまざまな意見を各議員から頂いています。3月の予算審議方法をより深く、効率よく進めていけるように、2月1日に鈴鹿市に研修をさせて頂き参考にしながら、今後の審議方法を議会運営委員会で決定をしていく予定です。

議会改革特別委員会での分科会決定！

三つの分科会に分かれる中、私は議会運営委員長という立場から、第1分科会（会議規則、先例事例集の見直しなど）に所属し、議会運営委員会の決定事項と分科会での決定事項を調整しながら、改革を進めていきたいと思えます。1月14日から、委員会がはじまります。

活動報告

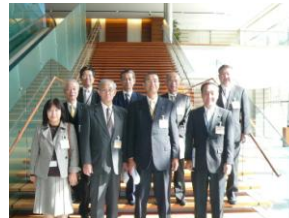
- 10月17日 住民のつどい懇談会（宝来坂）
- 21日 会派制度要求調整
- 22日 児童保護パトロール
- 23日 石部宿まつり
- 24日 もみじ・あざみ文化祭
- 11月1日 福祉教育常任委員会
- 2日 臨時議会
- 4～5日 市町村アカデミー研修（千葉）
- 6日 さわやかウォーキング
- 7日 ふれあい祭り
- 9日 第56回全国競馬労働組合定期大会
- 10～11日 福祉教育常任委員会研修（小野市）
- 12日 行政改革市民懇談会（甲西北）
- 14日 ふれあい広場・かふか音楽祭
- 20日 ミュージックカフェ
- 21日 議会改革特別委員会
- 23日 民主党パーティー・青少年育成大会
- 24日 会派要望提出・総合計画審議会傍聴
- 28日 オウム真理教追放運動
- 30日 議会運営委員会・臨時議会
- 12月1日 連合滋賀甲賀地区連絡会制度要求
- 2～17日 12月定例議会
- 5日 甲西吹奏楽団きらめきコンサート
- 12日 青少年指導支援の会・ネットワーク会議
- 18日 スポーツ少年団ミニバスケット激励
- 24日 議会改革特別委員会・会派広報委員会
- 28～30日 湖南省消防団年末警戒激励
- 1月1日 朝起き会元朝式
- 7日 連合滋賀新春の集い
- 9日 消防出初式・谷康彦年賀会
- 1月～12日 市町村議会議員セミナー研修
- 14日 臨時議会・議会改革第1分科会



10/30 山中選手と一緒に



10/30 ハーモニーマーム文化祭



11/15.16 東京会派研修



11/3 行政改革市民フォーラム



11/28 湖南三山 長寿寺



12/14 福祉教育常任委員会